



◀にわふじ
(まめ科)

しょうていぼく
小低木で、コマツナ
ギによく似ている。花
あかあざいろ
は紅紫色をしている。
花 期 7～9月
草たけ 50～80cm
生育地 道ばた、山の草原、庭

ほそ えだ
茎は細く枝わかれする小低木。葉は互生し、7～11
ていぼく
枚の小葉からなる。葉腋に淡紅紫色の蝶形花をつける。
えき うすあかあざいろ
昔、土手に生えるこの低木に馬のたづなを結びつけた
むす
ことから、この名前がつけられた。
花 期 7～9月
草たけ 50～90cm
生育地 日あたりのよい原野、土手
げん や ど て

▶(まめ科)
こまつなぎ



○ヌスビトハギの実の形が盗人(ぬすびと)がぬき足、
さし足にあるく足の形に似ているので盗人萩という
名がつけられたという。

ぬすびとはぎの実の形



◀ぬすびとはぎ(まめ科)

ちくりつ
茎は直立、葉は三出複葉で
さんしゅうふくよう
小葉にも托葉がある。葉腋に
たくよう
総状花序を、淡紅色の小花を
ようえき
つける。
花 期 7～9月
草たけ 50～100cm
生育地 草地、林内
りんない